学校番号	2101

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂａ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	詳説 世界史Ｂ（山川出版社）						
副教材等	プロムナード世界史（浜島書店）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な時代・地域に生きる人々の営みから、社会や政治・文化、個人の在り方を考えましょう。
・歴史的事象の背景を大切に、主体的な学習態度を培ってください。
・各国・地域の歴史的経緯や諸事情を踏まえて、現在の日本の方向性を模索しましょう。

2 学習の到達目標

・世界史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づいて地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解させる。
・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を、広い視野に立って考察させることにより、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業プリント 課題プリント レポート	定期考査 授業プリント 課題プリント	定期考査 課題プリント	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート アンケート	〔主題学習〕 レポート プレゼンテーション	〔主題学習〕 ポスター等の作成	〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史への扉	・自然環境と人類のかかわり ・日本の歴史と世界の歴史のつながり ・日常生活にみる世界の歴史	○	○ ○	○ ○	○	a:自然環境と人類の関わり、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史に関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b:主題設定した学習を通して、具体的様相や変遷などを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:主題設定した学習を通して、事例の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表にまとめたりなどしている。 d:主題設定した学習を通して、地理的視点の重要性、日本の歴史とのつながり、日常生活からも世界の歴史が捉えられることなどの世界史を学ぶ視点と、世界史学習の意義に気付いている。	授業プリント 課題プリント
	諸地域世界の形成	・西アジア世界・地中海世界 ・南アジア世界・東南アジア世界 ・東アジア世界・内陸アジア世界	○ ○	○	○	○ ○	a:人類が自然環境に適応しながら築き上げた諸文明及び諸地域世界に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:世界各地に形成された諸文明及び諸地域世界の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界各地に形成された諸地域世界の特質に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:世界各地に形成された独自の地域世界の基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。。	定期考査 授業プリント 課題プリント
	諸地域世界の交流と再編	・イスラーム世界の形成と拡大	○	○ ○	○	○ ○	a:新たな地域世界の形成や再編に対する関心を高め、意欲的に追究している。 b:新たな地域世界の形成過程及び地域世界観の交流が及ぼした影響を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:新たな地域世界の特質に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:新たな地域世界の形成や再編についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	定期考査 授業プリント 課題プリント

前期	時間軸からみる諸地域世界	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	 ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	a:世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 b:世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界の歴史についての基本的な事柄を身に付けている。	レポート プレゼンテーション 振り返りシート アンケート ポスター等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。